

令和5年度（2023年度）熊本県児童生徒の体力・運動能力調査（質問紙調査）結果

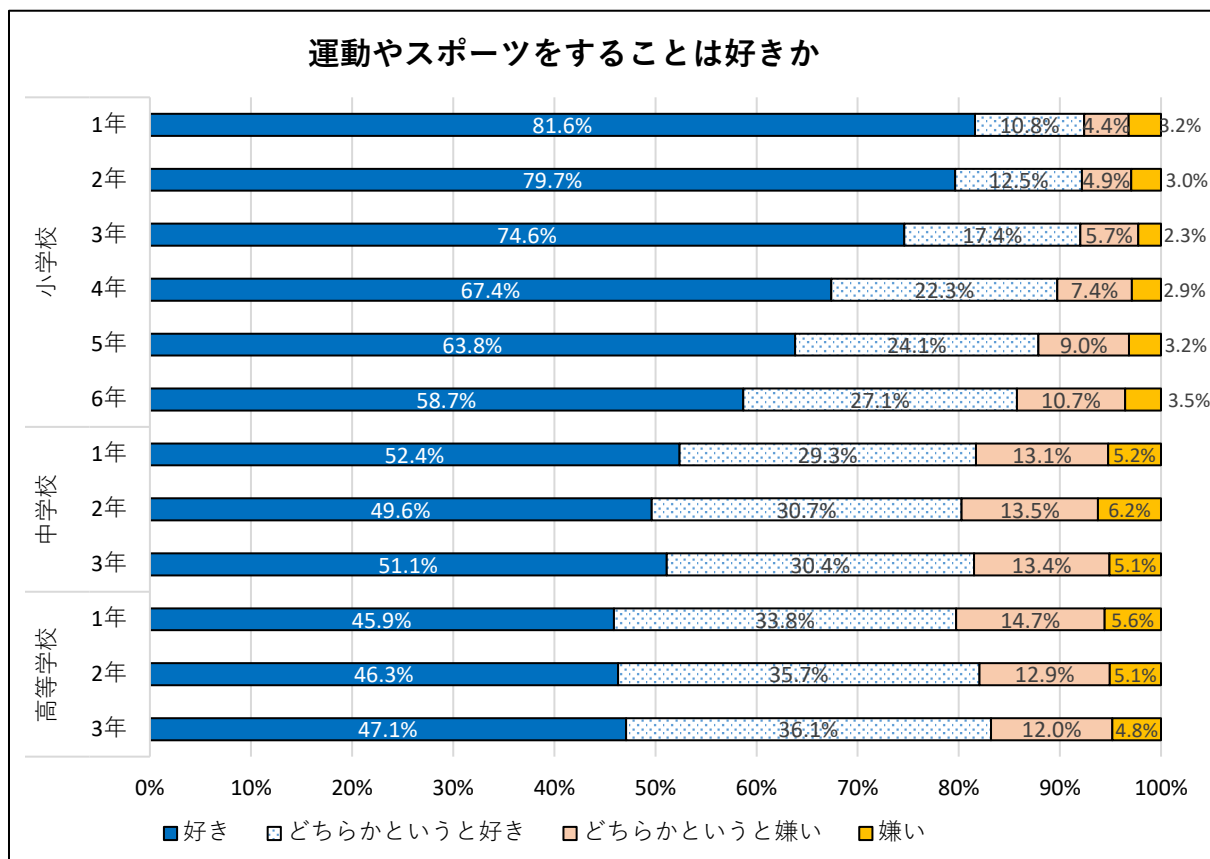
令和4年度より、児童生徒の運動に対する意識の実態を把握するため、質問紙調査を実施した。

調査対象：小学1年生～高校3年生（質問項目③は小学4年生以上）

質問項目：

- ①運動やスポーツをすることは好きですか。
- ②運動やスポーツが嫌いな理由は何ですか。
- ③1週間にどれくらいの時間運動やスポーツをしていますか。（体育の時間を除く）

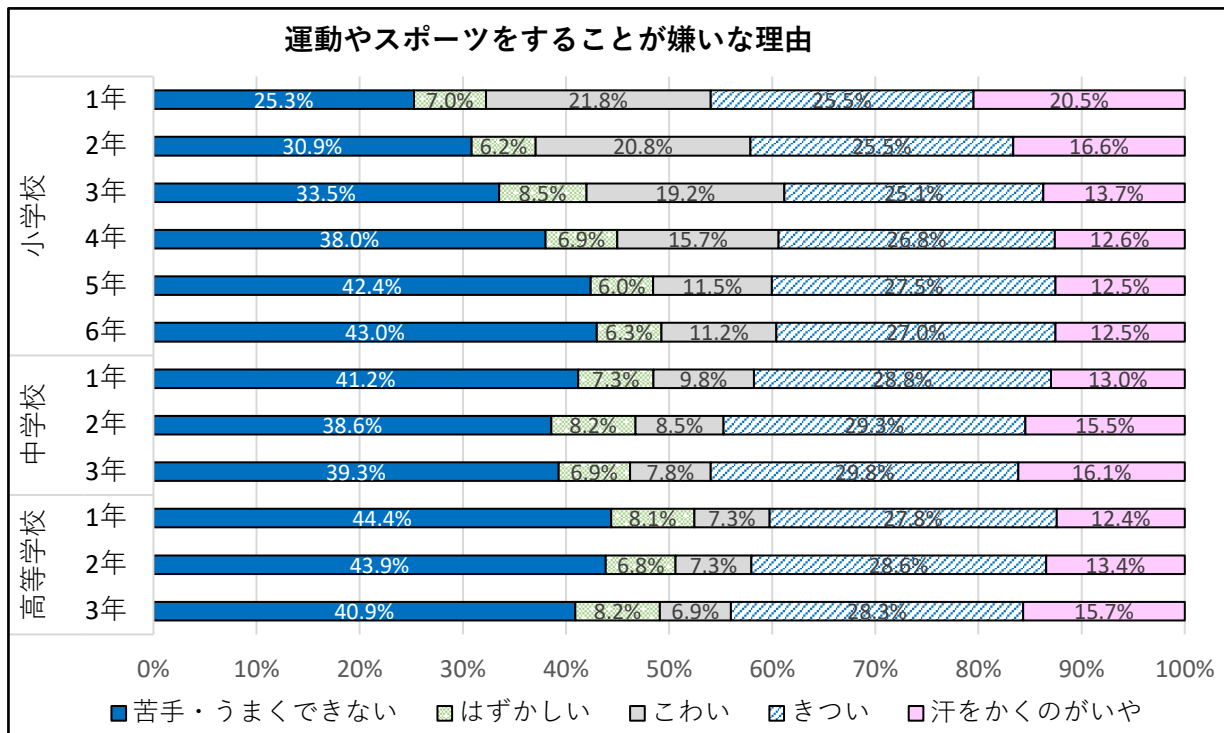
① 運動やスポーツをすることは好きですか。



	小学校						中学校			高等学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
好き	81.6%	79.7%	74.6%	67.4%	63.8%	58.7%	52.4%	49.6%	51.1%	45.9%	46.3%	47.1%
どちらかという好き	10.8%	12.5%	17.4%	22.3%	24.1%	27.1%	29.3%	30.7%	30.4%	33.8%	35.7%	36.1%
どちらかという嫌い	4.4%	4.9%	5.7%	7.4%	9.0%	10.7%	13.1%	13.5%	13.4%	14.7%	12.9%	12.0%
嫌い	3.2%	3.0%	2.3%	2.9%	3.2%	3.5%	5.2%	6.2%	5.1%	5.6%	5.1%	4.8%

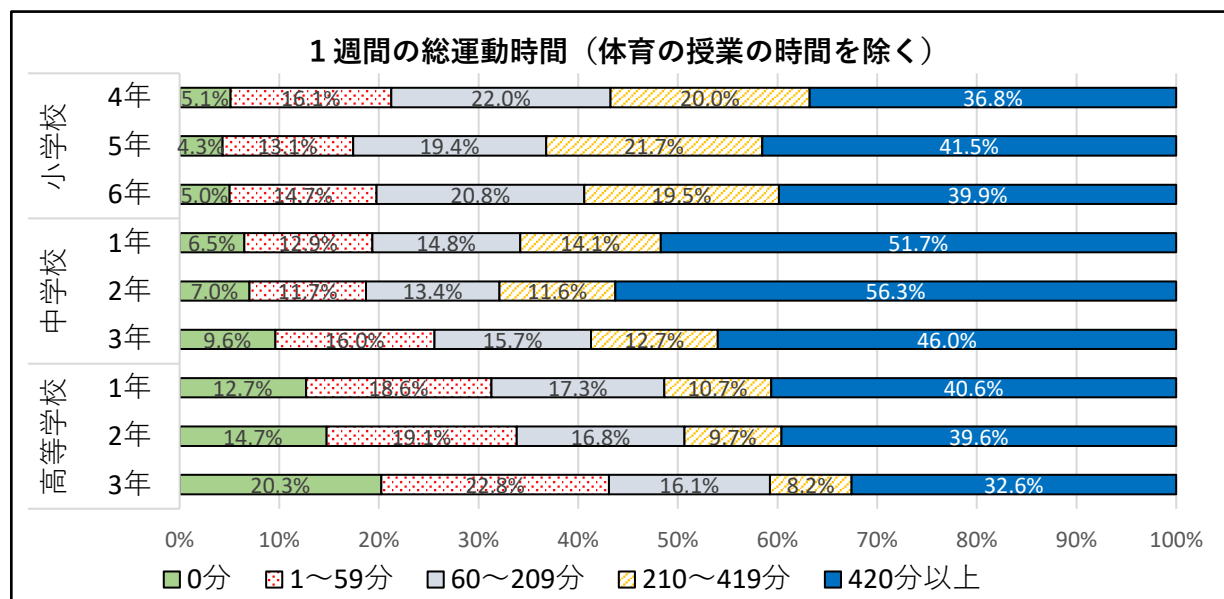
「運動やスポーツをすることが好きですか。」の問いに対し、「好き」と答えた児童生徒の割合が全学年で昨年度より向上した。しかし、小学校では学年が上がるにつれ徐々に「好き」と答える児童の割合が減少傾向にある。また、どの学年でも「嫌い」と答える児童生徒が一定数いる。すべての児童生徒が運動やスポーツの楽しさや喜びを感じ、進んで運動に親しむ素地を作る取組が必要である。

② 運動やスポーツをすることが嫌いな理由は何ですか。（複数回答可）



どの学年においても、「苦手・うまくできない」ことが運動やスポーツをすることが嫌いな理由として多くあげられている。児童生徒が「できる」を実感できるような体育の授業づくりと、個に応じた指導、支援を工夫改善していく必要がある。また、「きつい」と答えている児童生徒も25%程度いる。体を動かすことが楽しいと感じられるような教材や教具、学習内容を工夫することなども、解決の糸口になるのではないかと考えられる。

③ 1週間にどのくらいの時間運動やスポーツをしていますか。（体育の時間を除く）



小学校4、5、6年と中学3年、高校1年では、1週間に420分以上運動に取り組む児童生徒の割合が昨年度より増加した。しかしながら、全体的に全く運動に取り組まない児童生徒の割合が増加している。また、学年が上がるにつれ、その割合が増えていることから、発達段階に応じた運動の日常化を促す取組が必要である。